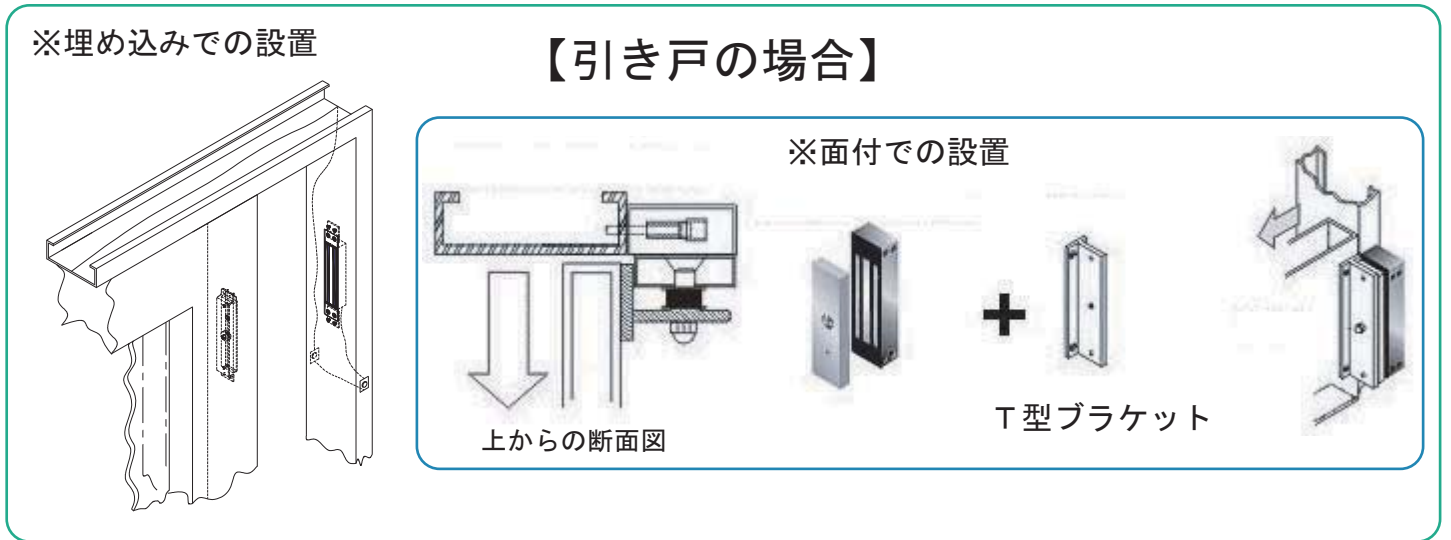
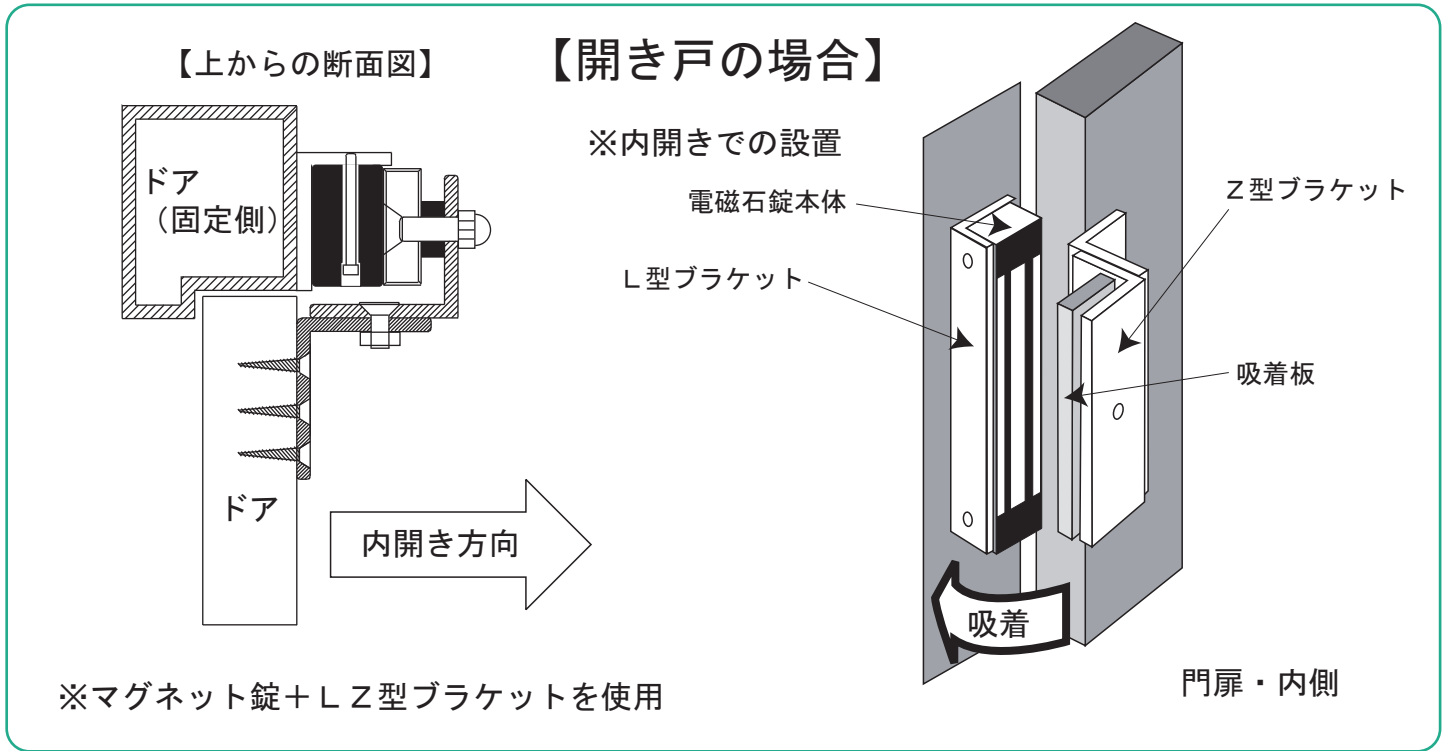
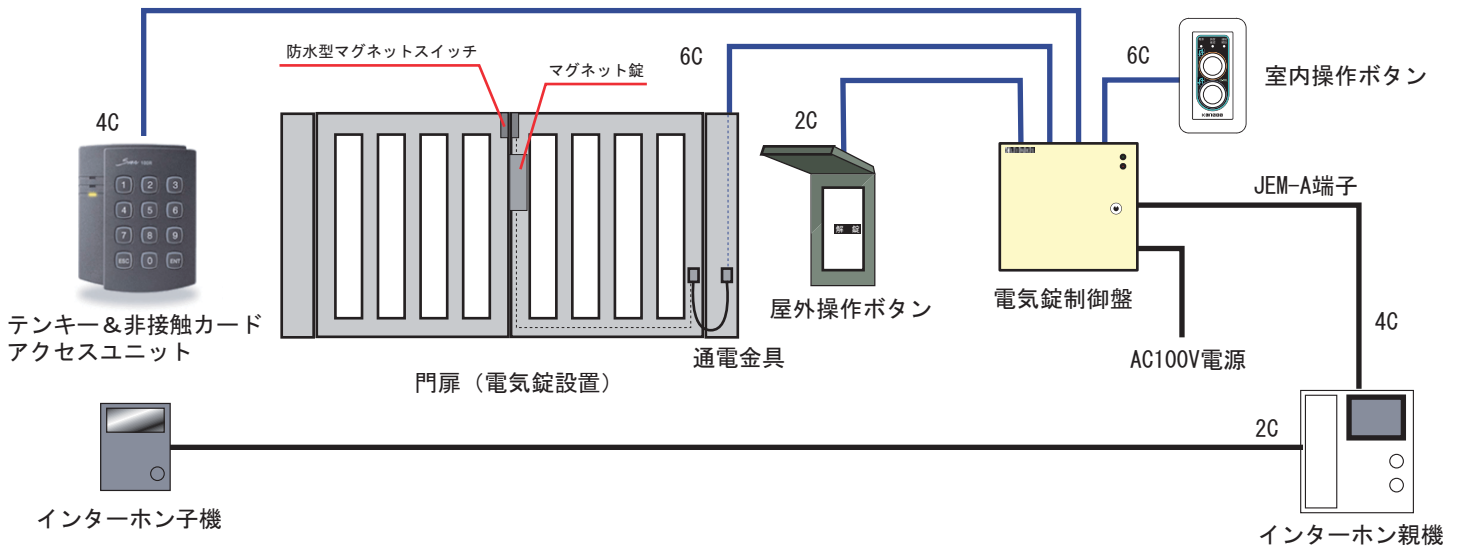


門扉に電磁石錠を設置する際の取付方法



【システム系統図】



引き戸に面付で電磁石錠を設置する際の取付図

●適応電磁石錠：

No. 10002（室内型・施錠モニター有・DC12V/24V共用・専用L型ブラケット：L-300）

No. 10001ST-R（防水型・施錠モニター有・DC12V/DC24V指定・専用L型ブラケット：L-10001ST）

No. 10006S-M（防水型・施錠モニター有・DC12V専用・専用L型ブラケット：L-400）

●T型ブラケット（各機種共通）：T800

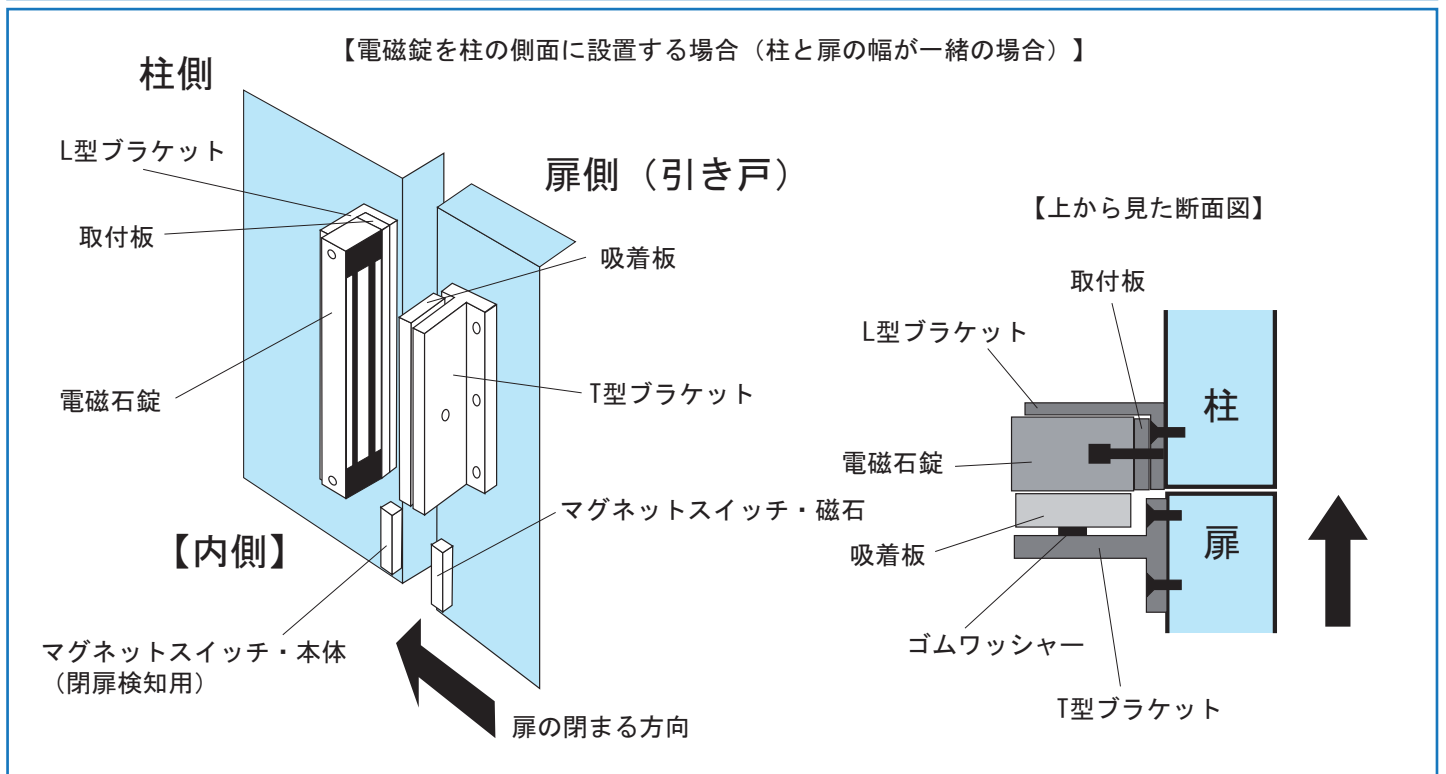
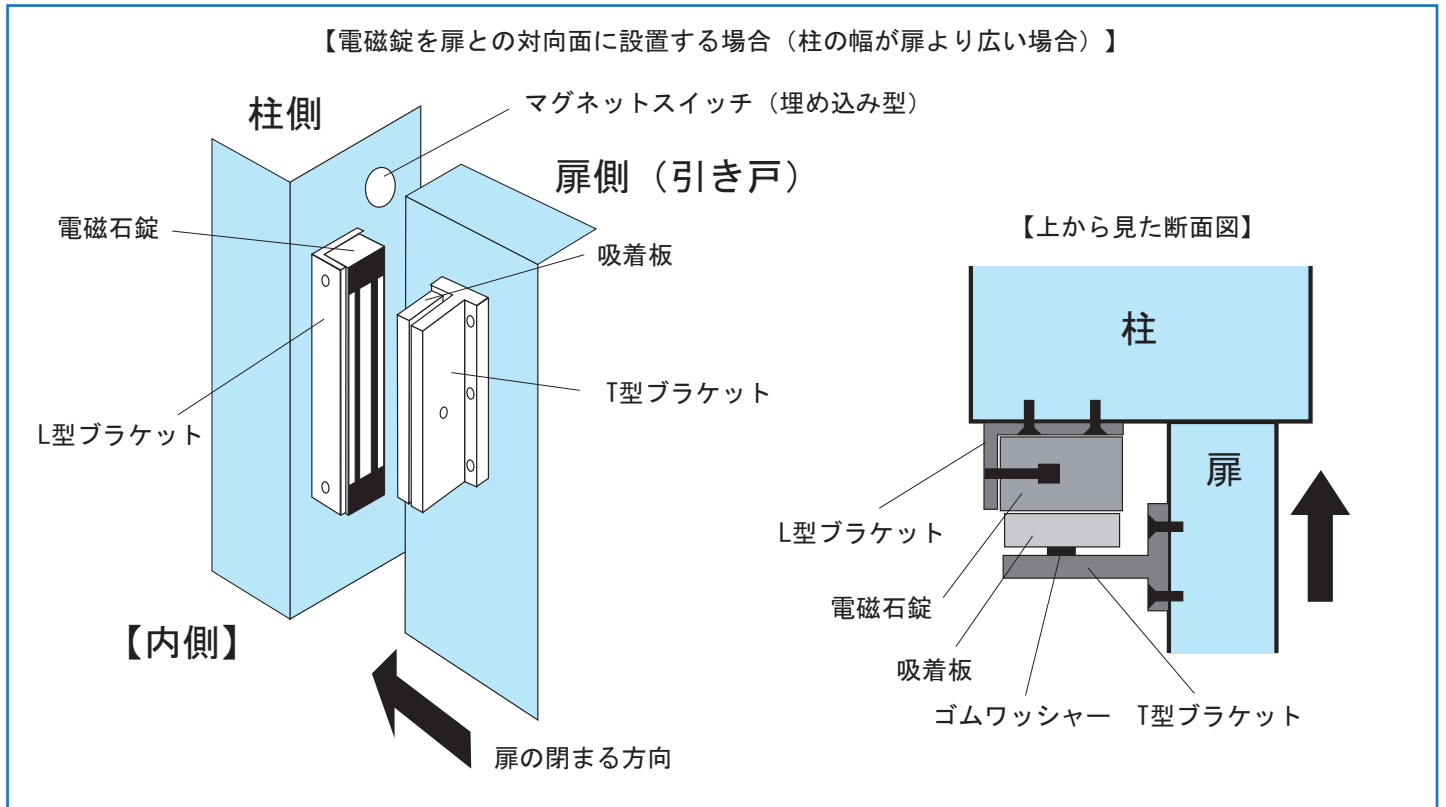
注意：L-400は穴あけ加工が必要です。

●取付板：各機種本体付属

※閉扉と同時に自動施錠させる為には、閉扉検知用マグネットスイッチが別途必要です（弊社制御盤には面付型の物は同梱しています）。

例：丸型埋込防犯スイッチ＝松下電工 EK471（埋め込みの場合）

防水型マグネットスイッチ＝竹中エンジニアリング MG-103WSb（面付の場合・屋外用）



【室内型電磁石錠・取付説明書】

製品仕様

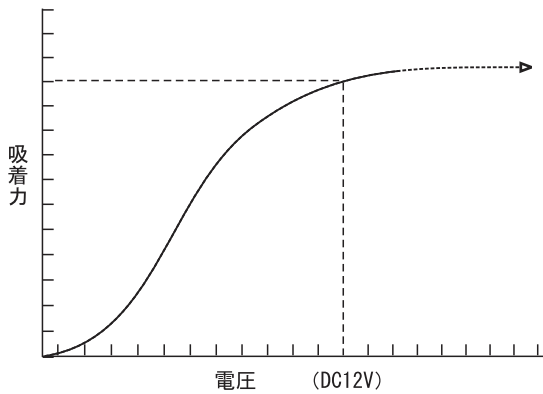
型番	吸着力	消費電流	取付金具 (オプション)
EM-150M	約136kgf	350mA@12VDC 170mA@24VDC	
10002, 10002DS	約272kgf	500mA@12VDC 250mA@24VDC	吸着板用面付金具 : GE-320M (10002用) 外開き扉用L型金具 : L-300, EM-10001L 内開き扉用LZ型金具 : LZ-300N, EM-10001LZ
10005DS	約363kgf × 2	500mA@12VDCX2 250mA@24VDCX2	外開き扉用L型金具 : L-300, EM-10001L × 2 内開き扉用LZ型金具 : LZ-300N, EM-10001LZ × 2
10020DS	約545kgf	500mA@12VDC 250mA@24VDC	外開き扉用L型金具 : L-500 内開き扉用LZ型金具 : LZ-500N
10040DS	約545kgf × 2	500mA@12VDCX2 250mA@24VDCX2	外開き扉用L型金具 : L-500 × 2 内開き扉用LZ型金具 : LZ-500N × 2

※10020DS, 10040DS専用 (他の製品にも利用可能ですが、横がはみ出します)
→ 外開き扉用・扉枠段差埋め金具 (フィラープレート) : ROFU 21001, ROFU 21005

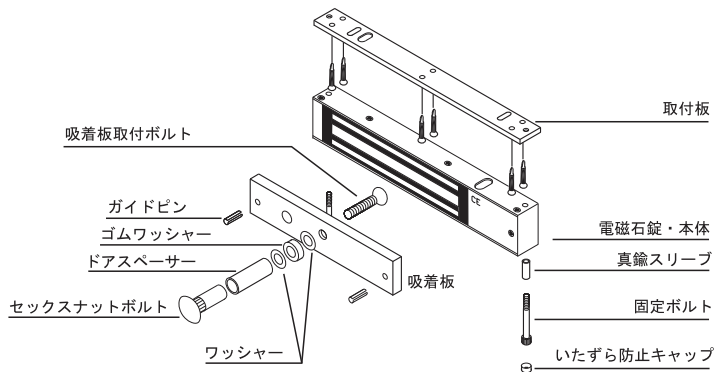
※10002, 10002DS, 10005DS専用
→ 引き戸用吸着板面付T型取付金具 : T800
外開き枠無しガラス扉用・U型吸着板取付金具 : UBK-012

吸着力曲線&付属品について

電磁石錠の吸着力 (施錠時の保持力) は、供給電圧に依存します。下図は電圧の変化による吸着力の違いを表しています。

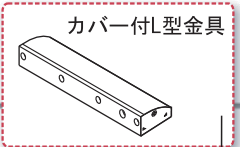


※ '真鍮スリーブ' 及び 'いたづら防止キャップ' に関しては、使用しない製品の場合は同梱していません。

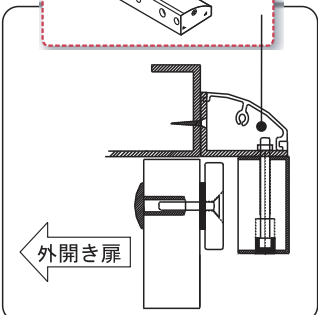


取付金具 (オプション)

扉の開閉方向 (外/内開き) と、扉枠の形状 (下図の様な断面) を予め調査して、適切な取付金具を選択してください。扉の上枠の形状及び開閉方向により、以下の取付金具が必要になります。

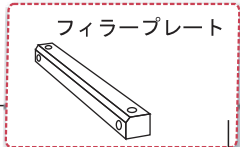


カバー付L型金具

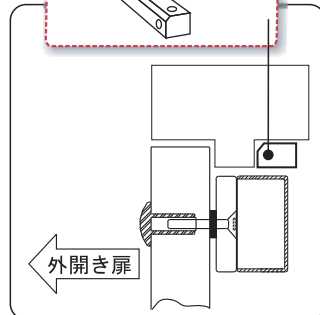


← 外開き扉

カバー付L型金具による取付

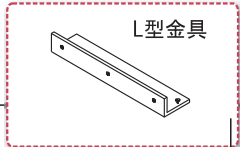


フィラープレート

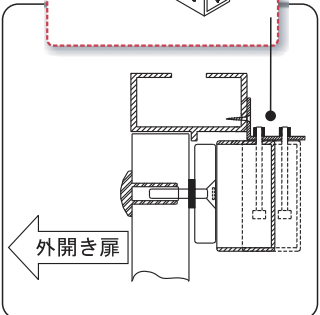


← 外開き扉

フィラープレートによる取付

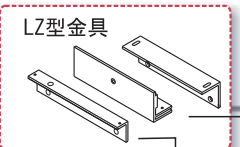


L型金具

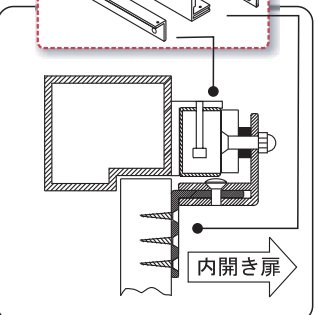


← 外開き扉

L型金具による取付

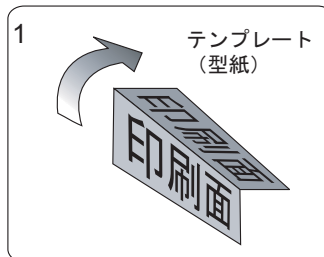
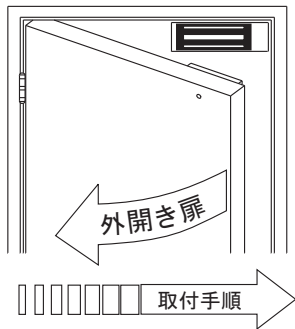


LZ型金具

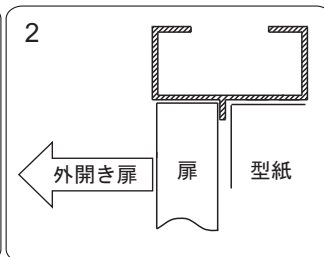


← 内開き扉

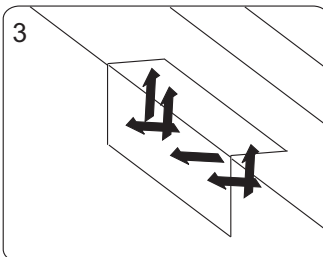
LZ型金具による取付 (内開き扉)



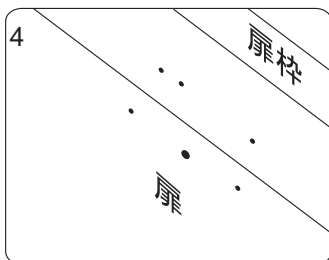
付属のテンプレートを真ん中の破線に沿い、印刷面を内側にして90度に折り曲げて下さい。



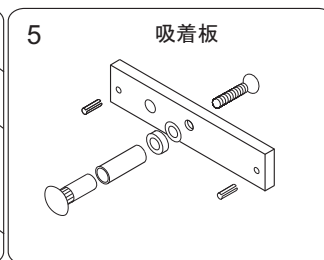
扉をしっかりと閉じ、扉と扉枠に対してあてがい、必要ならばテンプレートをテープで留めて下さい。その際、電磁石錠本体がなるべく戸先側になるように留意して下さい。



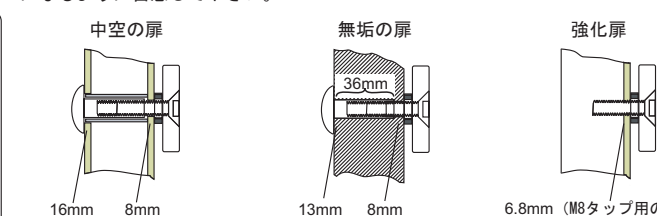
テンプレートを基準に取付穴の位置(扉枠3ヶ所、扉3ヶ所)をセンターポンチ等でマーキングして下さい。



扉側のガイドピンの穴を、φ6で2ヶ所開けてください。無垢の扉の場合は、深さ12mmまで掘り下げてください。



吸着板を扉に固定させるためには、扉の形式により、右図のようにそれぞれに適した取付方法を行ってください。



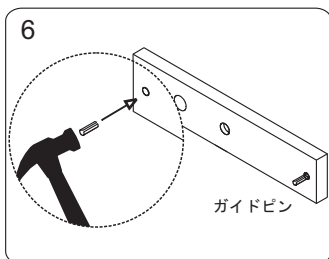
一旦φ6程度のドリルで外側から貫通させ、その後外側をφ16のホルソーで拡げます。そして内側をφ8に拡げます。ドラスベアサーを扉厚に合わせて切断し、吸着板取付ボルトを締め、扉がへこまない様に間に挟みます。

φ8の貫通穴を開け、外側をφ13で36mm掘り下げます。扉厚が薄い場合はφ13で貫通させてください。

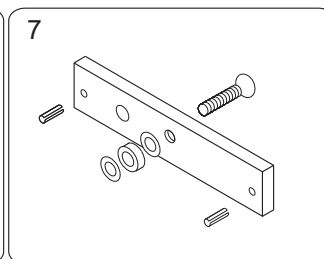
扉の内側のみをφ6.8の下穴を開け、M8のタップを切ります。

※吸着力別・対応扉厚 (同梱の吸着板取付ボルトを扉貫通で使用した場合)

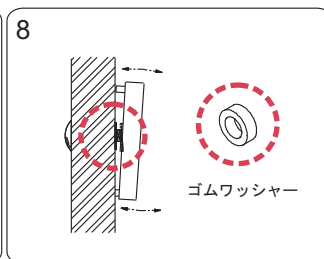
150kg型：最大44mm 300kg型：最大50mm 400kg型：最大48mm 600kg型：最大46mm



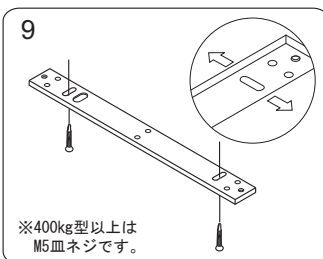
吸着板の左右の端に開いている穴にガイドピンを打ち込みます。



ゴムワッシャーを2枚の金属ワッシャーではさみ、吸着板と扉の間に入れ、吸着板取付ボルトを貫通させてください。

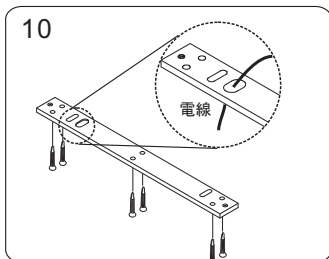


ゴムワッシャーの弾力により、吸着板が適度なピボット運動(すりこぎ運動)をして電磁石錠との密着性を保てるよう、吸着板取付ボルトを締め付けてください。

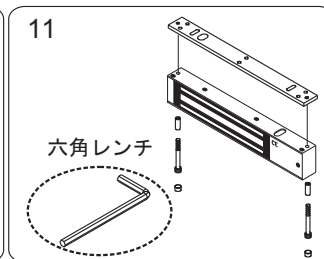


※400kg型以上はM5皿ネジです。

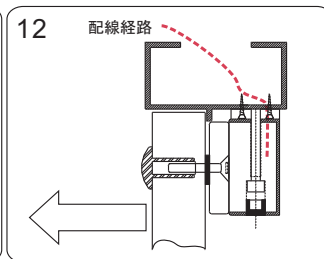
扉枠側にマーキングした両端の2ヶ所にφ3.5の穴を開けてください。そして取付板をM4皿ネジで、スライド調整できる程度にゆるめに扉枠に固定してください。



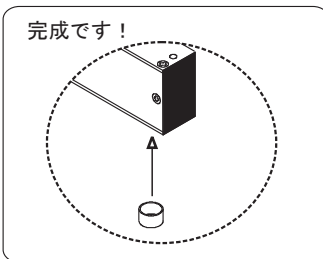
一旦電磁石錠を取付板に装着し、扉を閉め本体と吸着板が向かい合った時に、面全体が均一に接するよう位置をスライドさせ調整してください。その際、扉が閉じる時に吸着板が本体に強くぶつからないよう注意してください。



適切な位置が決まった時点でマーキングした後電磁石錠本体を取り外し、残りの6ヶ所にM4 (M5) タップを切り、取付板をM4 (M5) 皿ネジで確実に固定してください。

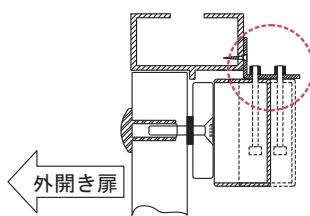


通線用の穴から配線を通します。後施工の場合は隠蔽配線は困難な場合が多いので、その場合扉枠の中に上向きに一旦通し、すぐに外へ配線を露出させ(室内側)、モール等で処理する形にします。

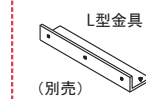


電磁石錠本体を真鍮スリーブに通した固定ボルトでしっかりと取付板に固定します。そして配線を確実に接続してください。最後にいたずら防止キャップを取り付けて終わりです(無い場合もあります)。

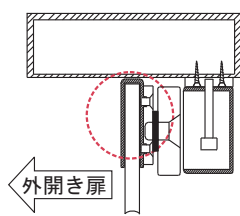
扉枠が狭い場合のL型金具を使用した取付



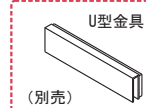
扉枠が扉と面一、又は見込み寸法(奥行き幅)が極端に短い場合、L型金具を使用して適切な設置面を形成します。



枠無しガラス扉にU型金具を使用した取付

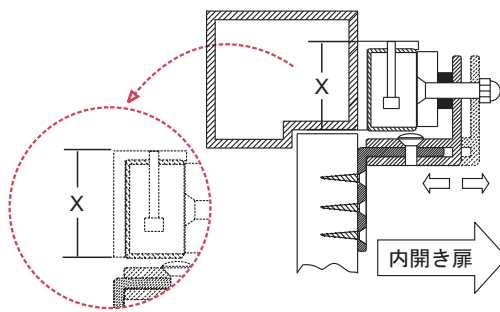
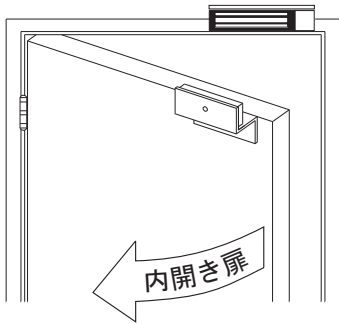


枠無しガラス扉用吸着板取付金具は、300kg、400kg型で共用できます。



※ガラス厚12mm専用です。

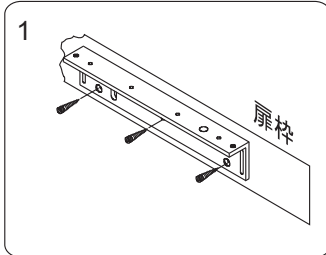
LZ金具を使用した内開き扉への取付方法



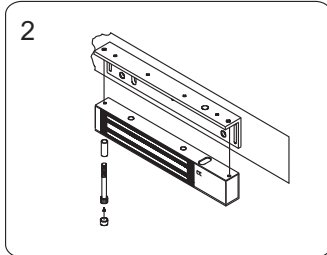
左図の 'X' 寸法は、内開き扉へ金具を設置する際に、最低限必要な扉枠の高さの寸法を示しており、電磁石錠の種類によってその寸法は以下のようになります。

形式	'X' 寸法
150kg型	-----
300kg型	48mm
600kg型	54mm
1200kg型	76mm

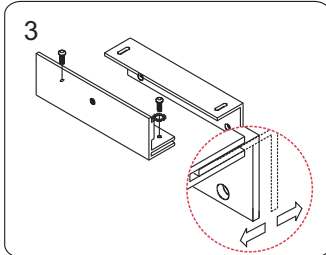
内開き扉にLZ型金具を使用して設置する取付手順



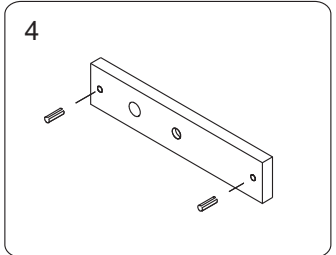
1 扉枠にL金具を設置する位置を決めます。その際、設置後に扉が電磁石錠本体にぶつからず、確実に閉まる様になることに留意します。



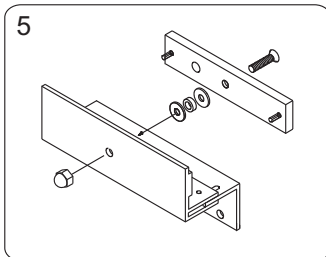
2 電磁石錠を固定ボルトにてL型金具に固定します。



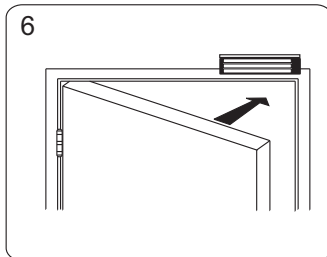
3 Z型金具を組み立て、前後に位置を調整できることを確認します。



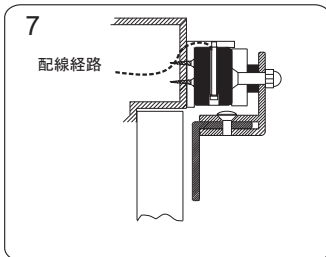
4 吸着板の左右の端に開いている穴に、ガイドピンを打ち込みます。このガイドピンにより、吸着板が回転することなしに、ピボット運動が可能となります。



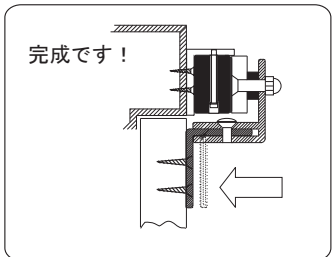
5 ゴムワッシャーを2枚の金属ワッシャーではさみ、吸着板とZ金具との間に入れ、吸着板取付ボルトを貫通させてください。



6 扉を一旦閉じ、閉じた状態で吸着板が確実に電磁石錠の吸着面に密着する位置を確認して下さい。

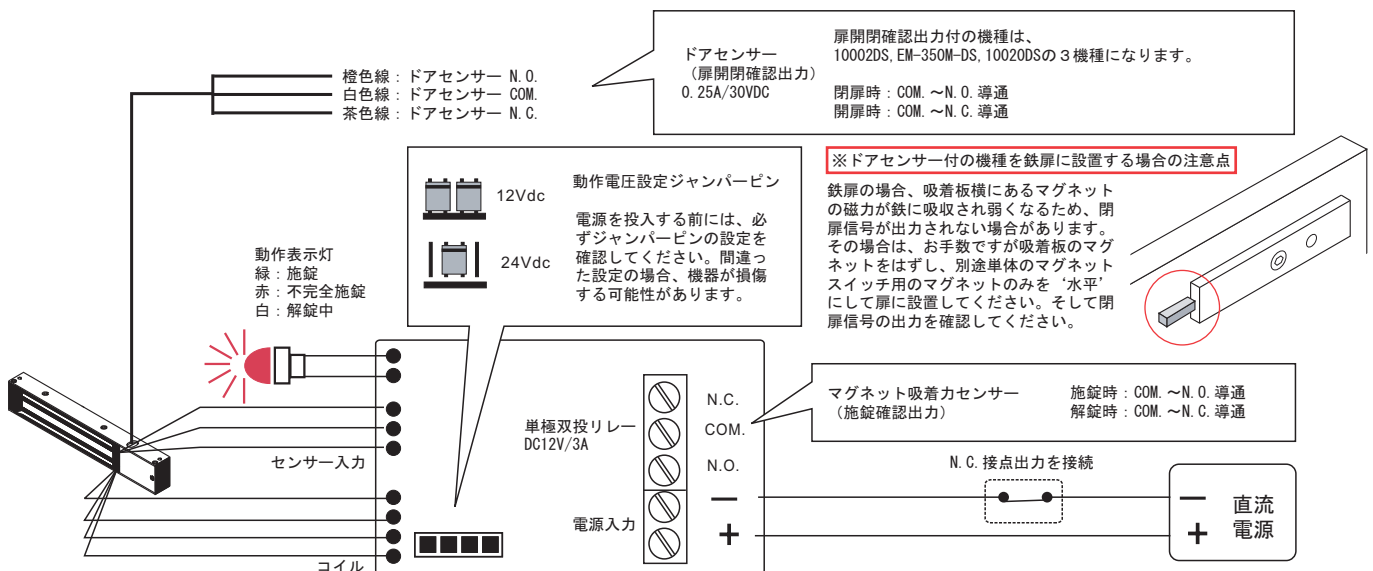


7 電磁石錠に通電し吸着板を吸着させ、その状態で金具の前後を調整します。



完成です！
位置が確定した時点で、Z金具を扉に対し確実に固定します。そして完成です。

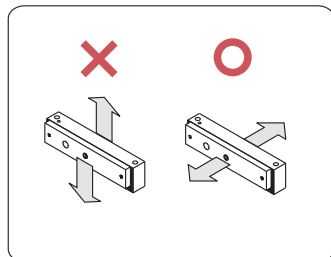
結線方法



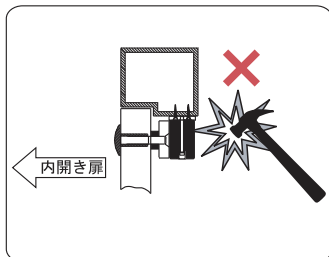
※国産電気錠制御盤と接続する場合の結線例（電磁石錠の動作電圧設定を必ず24Vに設定する必要があります）

【注意】	●電磁石錠 接続端子	●オート製 C-U01 電気錠制御盤 CN30端子	●美和ロック製 電気錠制御盤 配線色
ドアセンサー出力が無い機種の場合は、別途扉開閉検知用のマグネットセンサーを用意する必要があります。	電源入力 +24V →	1 SOL+	青 SOL+
	電源入力 -GND →	2 SOL-	茶 SOL-
	ドアセンサー出力 N.O. →	3 24V	橙 RSW
	ドアセンサー出力 COM. →	4 開扉信号	白 RSW
	吸着力センサー出力 N.C. →	6 解錠信号	黄 MSW1
	吸着力センサー出力 COM. →	5 24V	黒 MSW1
	吸着力センサー出力 N.O. →	7 施錠信号	赤 MSW1

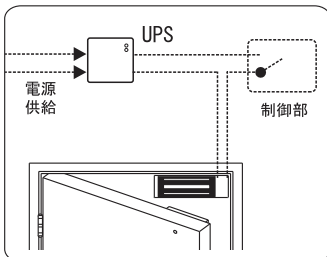
重要な注意事項



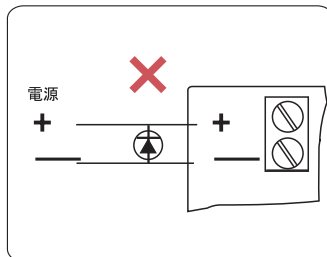
電磁石錠を設置する際に注意すべき最も重要な点は、吸着力を最大限に発揮させるためには、吸着板の作動方向を電磁石錠の吸着面に対し必ず垂直になるように設置することです。



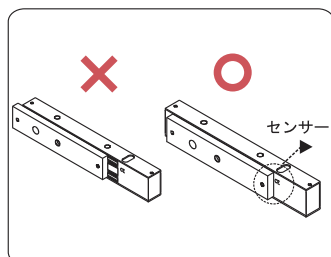
不法侵入に対抗できるように、電磁石錠を設置する場所は、必ず室内側になるようにしてください。また配線もなるべく扉枠の中を通すようにし、露出する場合は室内側になるようにしてください。



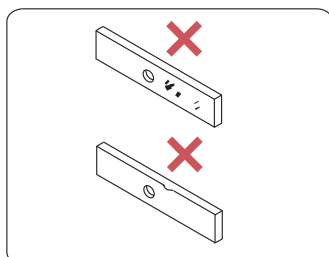
電磁石錠は「通電時施錠（停電時解錠）」型の電気錠です。そのため停電の際のセキュリティ性が要求される場合は、電源のバックアップが必要になります。



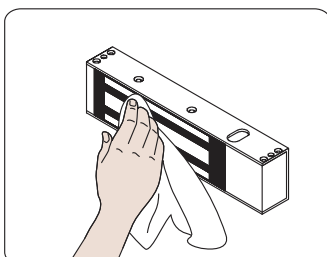
電磁石錠に対し、逆起電力防止用としてダイオードを接続することはしないでください。解錠動作に遅延が生じ、残留磁気が発生します。



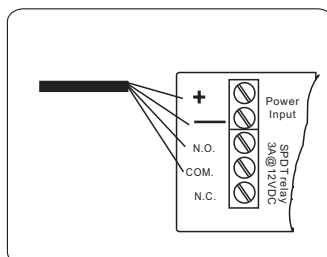
本体に内蔵された吸着力センサーが、吸着を検知するためには、電磁石錠と吸着板とは、接触の際完全に密着する必要があります。そうで無い場合、吸着を検知できず、「施錠」確認は出力されません。



吸着板の合わせ面に何らかの損傷を受けた場合、錠前の性能が十分に発揮されなくなる、あるいは錆びが発生させる原因となりますので、ご注意ください。



錆びを防止するために、吸着する合わせ面に「WD-40」等のシリコン系防錆潤滑剤を定期的に塗布してください。その際余分な液は拭うようにしてください。



電源線と信号線を同一ケーブルで配線する場合は、なるべくツイストペア線を使用してください。

配線長・目安表（電源～電磁石錠）

電流値	DC12Vの場合の 最小導体径 (mm)											
	8m	16m	24m	32m	48m	64m	80m	96m	128m	160m	320m	
0.25A	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.2	1.2	1.6	1.6	2.0		
0.50A	0.9	0.9	0.9	1.2	1.2	1.6	2.0					
0.75A	0.9	0.9	1.2	1.6	2.0	2.0						
1.00A	0.9	1.2	1.6	1.6	2.0							
1.50A	0.9	1.6	2.0	2.0								
2.00A	1.2	1.6	2.0									

電流値	DC24Vの場合の 最小導体径 (mm)											
	8m	16m	24m	32m	48m	64m	80m	96m	128m	160m	320m	
0.25A	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.2	1.2	1.2	
0.50A	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.2	1.2	1.6	1.6	2.0		
0.75A	0.9	0.9	0.9	0.9	1.2	1.6	1.6	2.0	2.0			
1.00A	0.9	0.9	1.2	1.2	1.6	1.6	2.0	2.0				
1.50A	0.9	0.9	1.2	1.6	1.6	2.0						
2.00A	1.2	1.2	1.6	1.6	2.0							

トラブルシューティング

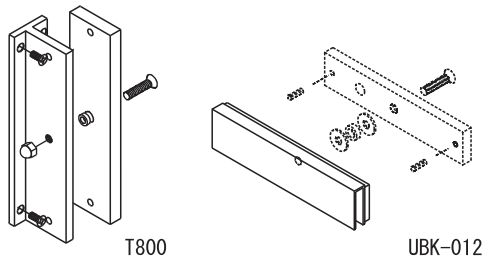
問題点	原因の可能性	解決策
施錠しない	電磁石錠に通電されていない	結線がちゃんとなされているか、端子台を確認してください。
		電源が正しく配線され、適切な運用をしているか確認してください。
		制御装置に対し正しく接続されているか確認してください。
吸着力が弱い	電磁石錠と吸着板との密着性が悪い	制御装置に対し正しく接続されているか確認してください。
		電磁石錠と吸着板との位置関係が適切であるかを確認してください。
	電磁石錠と吸着板との接触面が汚れていないかを確認してください。	
施錠確認出力がされない	電圧が低下している、あるいは電圧の設定が間違っている	電磁石錠の動作電圧設定を確認し適切にしてください。
		電磁石錠に対し適切な電圧がかかっているかを確認してください。もし電圧が低い場合は、電圧降下の可能性がありますので、配線長に対して適切な配線の太さを確認してください。ノイズ防止の為に接続したダイオードは、すべて取り外してください（電磁石錠には予めノイズ防止用のバリスタが内蔵されています）。
閉扉確認出力がされない	リードスイッチとマグネットとの位置関係が悪い	吸着板の設置位置が適切かどうかを確認し、調節してください。

株式会社リ・プレイス

■ 本社 〒153-0063 東京都目黒区目黒1-6-32 202 TEL:03-6431-9533 FAX:03-6431-9535

製品仕様

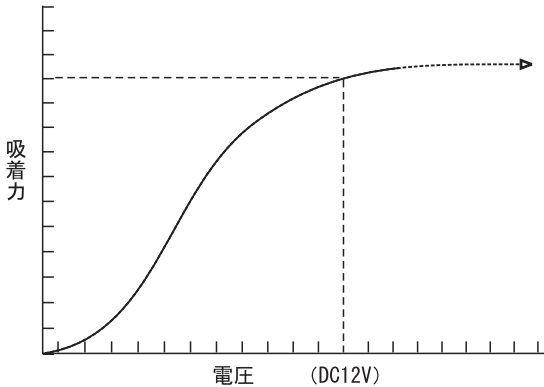
型番	吸着力	消費電流	取付金具（オプション）
10003F	約136kgf	300mA@12VDC	内開き扉用Z型金具：Z-150（吸着板側のみ）
10001ST-R	約272kgf	500mA@12VDC 250mA@24VDC	吸着板用面付金具：GE-320M 外開き扉用L型金具：L-10001ST 内開き扉用LZ型金具：LZ-10001ST
10006S-M	約363kgf	350mA@12VDC	外開き扉用L型金具：L-400 内開き扉用LZ型金具：LZ-400
GL-850M	約363kgf	350mA@12VDC	内開き扉用Z型金具：Z-400（吸着板側のみ）
10010ST	約545kgf	250mA@12VDC	外開き扉用L型金具：L-600 内開き扉用LZ型金具：LZ-600



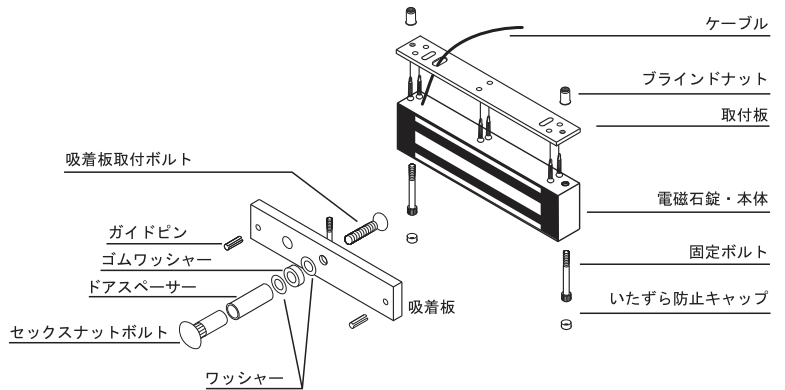
※10001ST-R, 10006S-M, GL-850M専用
 → 引き戸用吸着板面付T型取付金具：T800
 外開き枠無しガラス扉用・U型吸着板取付金具：UBK-012

吸着力曲線&付属品について

電磁石錠の吸着力（施錠時の保持力）は、供給電圧に依存します。下図は電圧の変化による吸着力の違いを表しています。

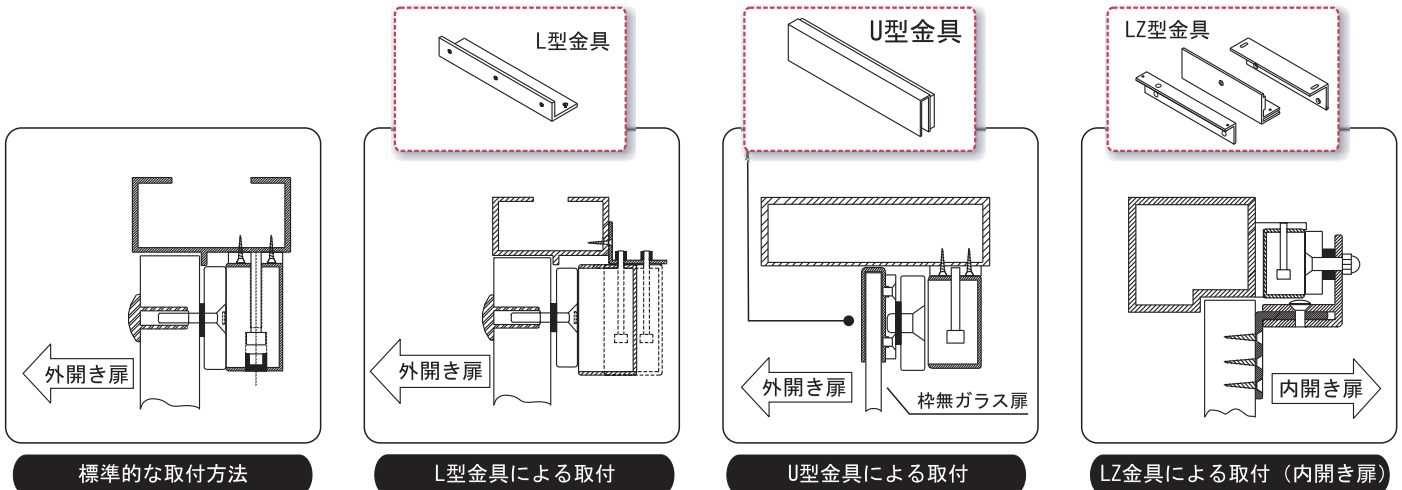


※躯体に直接タップを切り取り付ける場合は、下記の‘ブラインドナット’は、使用しません。

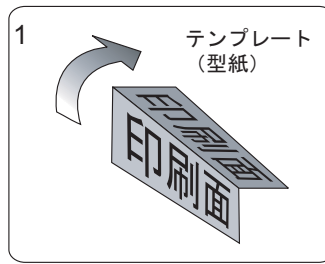
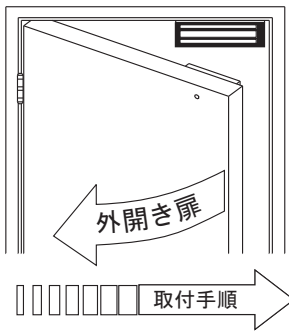


取付金具（オプション）

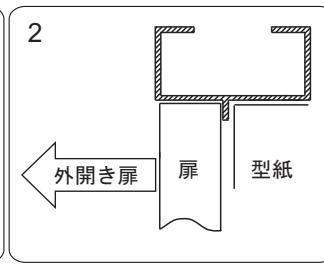
扉の開閉方向（外/内開き）と、扉枠の形状（下図の様な断面）を予め調査して、適切な取付金具を選択してください。扉の上枠の形状及び開閉方向により、以下の取付金具が必要になります。



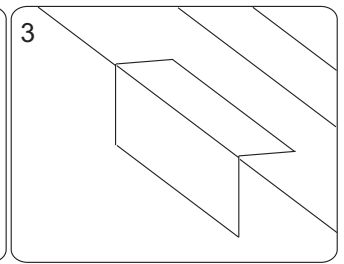
標準的な取付方法



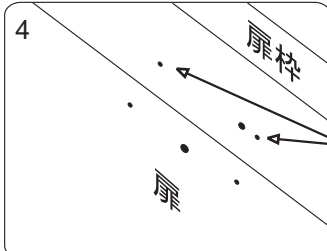
付属のテンプレートを真ん中の破線に沿い、印刷面を内側にして90度折り曲げて下さい。



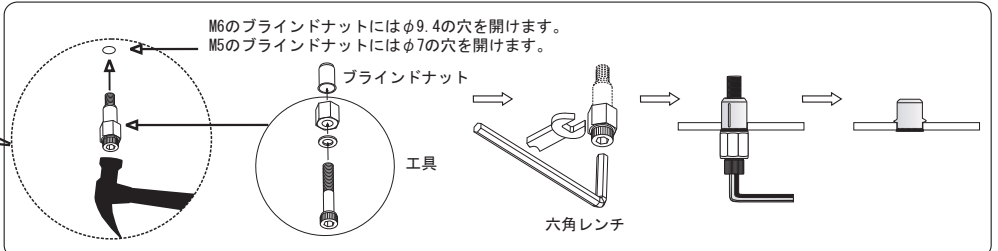
扉をしっかりと閉じ、扉と扉枠に対してあてがいが、必要ならばテンプレートをテープで留めて下さい。その際、電磁石錠本体がなるべく戸先側になるように留意して下さい。



テンプレートを基準に取付穴の位置(扉枠3ヶ所、扉3ヶ所)をセンターポンチ等でマーキングして下さい。



扉側のガイドピンの穴を、φ6で2ヶ所開けてください。無垢の扉の場合は、深さ12mmまで掘り下げてください。

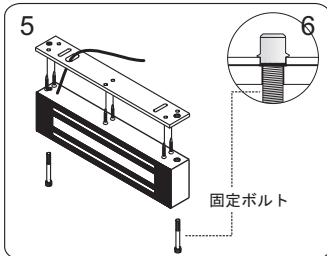


タップが効かない場合、ブラインドナットを扉枠側の両端の穴に挿入します。

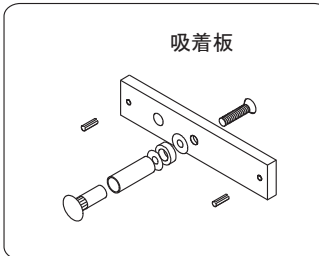
六角レンチを使用して、ゆっくりとボルトを締めてください(締めすぎは禁物です)。

ブラインドナットを圧縮することにより、恒久的に枠側に固定されます。

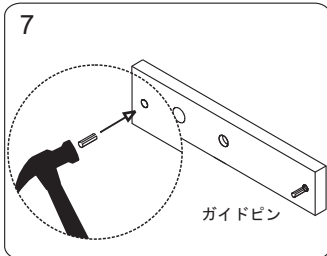
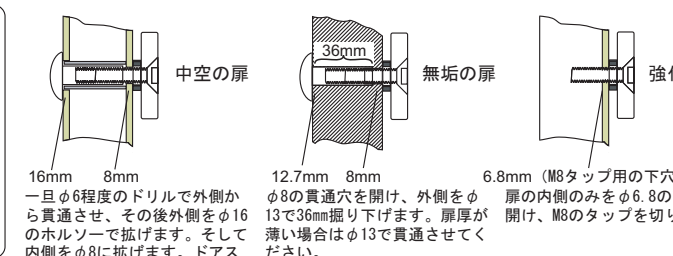
工具を取り外します。



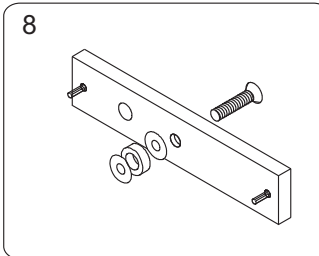
ブラインドナットを使用する場合は、取付板の両端の穴を拡げ、固定ボルトが取付板のネジ山に干渉せずに直接固定できるように加工してください。



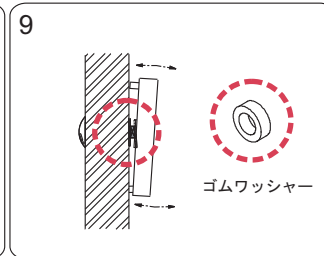
吸着板を扉に固定させるためには、扉の形式により、右図のようにそれぞれに適した取付方法を行ってください。



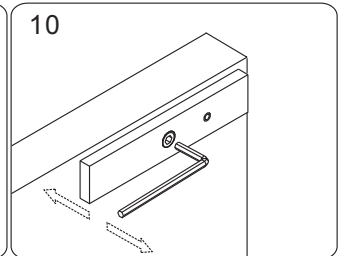
吸着板の左右の端に開いている穴にガイドピンを打ち込みます。



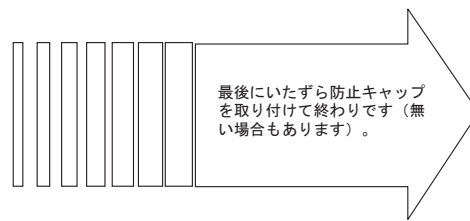
ゴムワッシャーを2枚の金属ワッシャーではさみ、吸着板と扉の間に入れ、吸着板取付ボルトを貫通させてください。



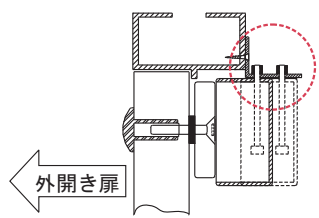
ゴムワッシャーの弾力により、吸着板が適度なピボット運動(すりこぎ運動)をして電磁石錠との密着性を保てるよう、吸着板取付ボルトを締め付けてください。



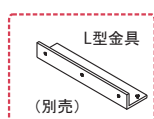
配線を接続し、動作テストをします。扉を閉める際、電磁石錠本体と吸着板が強くぶつからないよう、吸着板取付ボルトで前後の位置関係を調整してください。



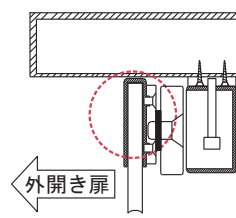
扉枠が狭い場合のL型金具を使用した取付



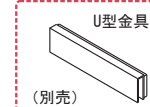
扉枠が扉と面一、又は見込み寸法(奥行き幅)が極端に短い場合、L型金具を使用して適切な設置面を形成します。



枠無しガラス扉にU型金具を使用した取付

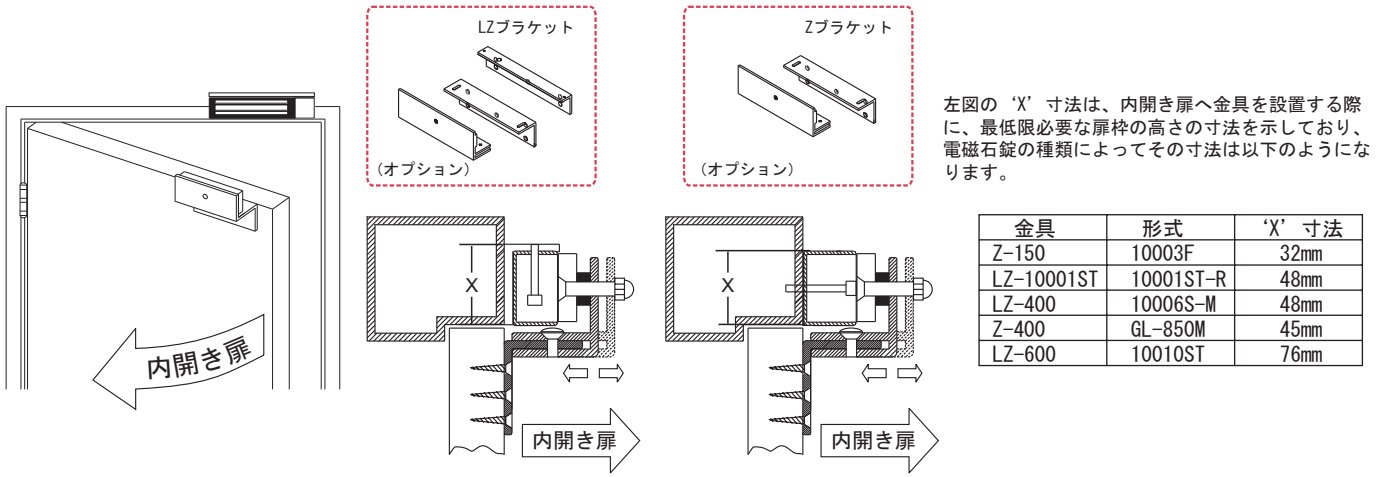


枠無しガラス扉用吸着板取付金具は、300kg、400kg型で共用できます。

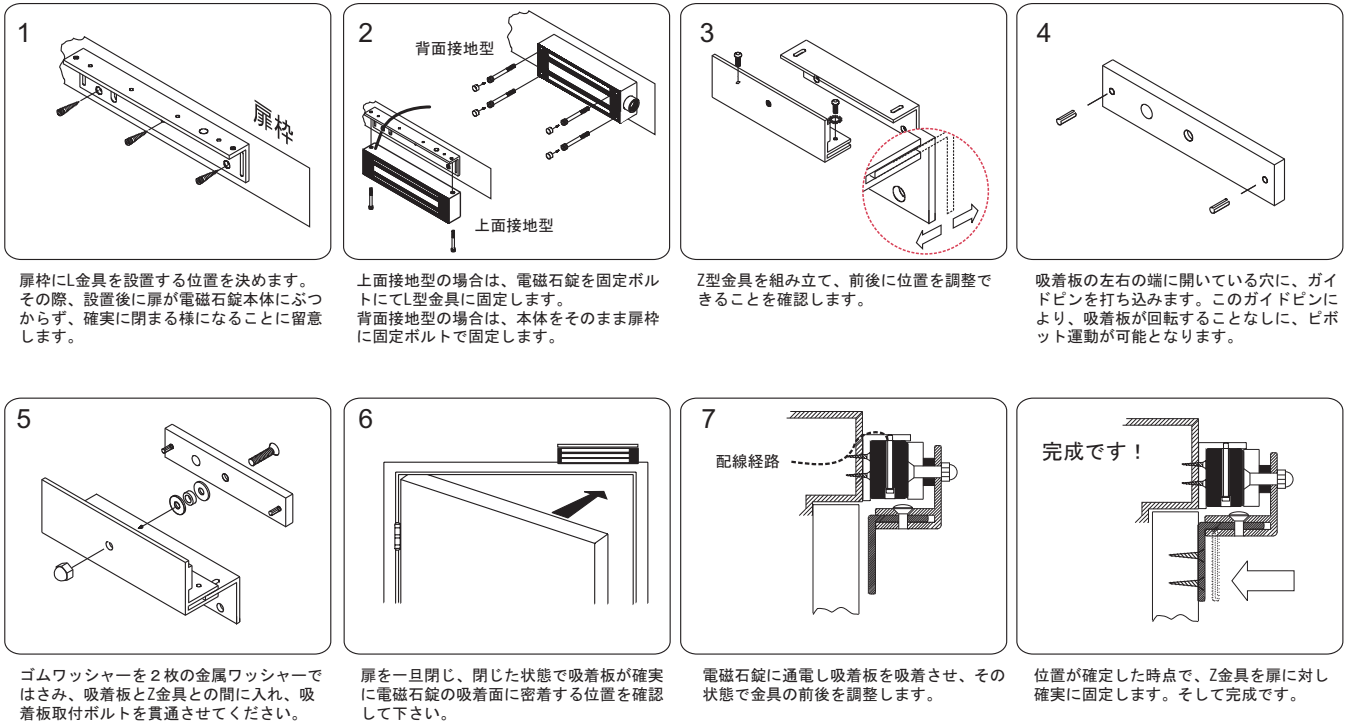


※ガラス厚12mm専用です。

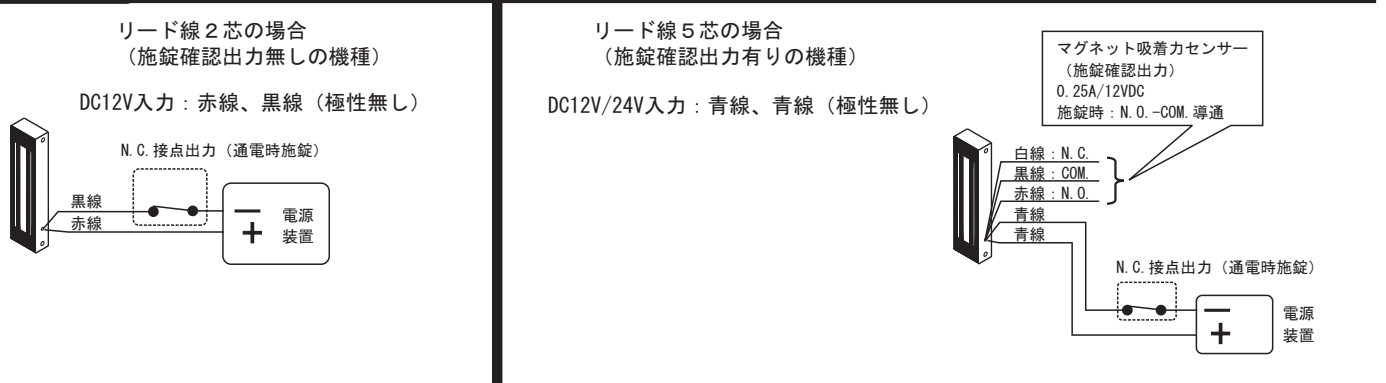
LZ金具又はZ金具を使用した内開き扉への取付方法



内開き扉にLZ型金具又はZ金具を使用して設置する取付手順



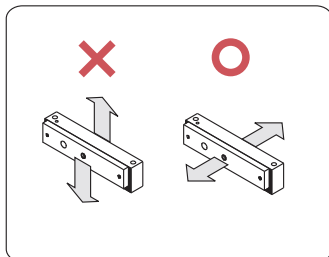
結線方法



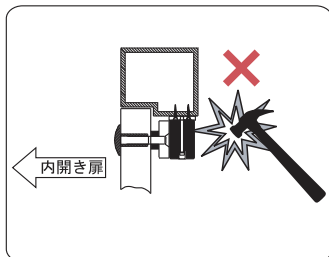
※国産電気錠制御盤と接続する場合の結線例 (電磁石錠の動作電圧は必ず24Vを注文する必要があります)

【注意】 別途扉開閉検知用のマグネットスイッチを用意する必要があります。施錠確認出力が無い機種の場合は、基本的に接続できません。	●電磁石錠 接続端子	●アート製 C-U01 電気錠制御盤 CN30端子	●美和ロック製 電気錠制御盤 配線色
	電源入力 +24V →	1 SOL+	青 SOL+
	電源入力 -GND →	2 SOL-	茶 SOL-
	マグネットスイッチ 接点 →	3 24V 型電気錠です。	橙 RSW
	マグネットスイッチ 接点 →	4 開扉信号	白 RSW
	吸着力センサー出力 N.C. →	6 解錠信号	黄 MSW1
	吸着力センサー出力 COM. →	5 24V	黒 MSW1
	吸着力センサー出力 N.O. →	7 施錠信号	赤 MSW1

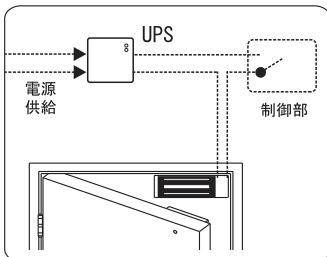
重要な注意事項



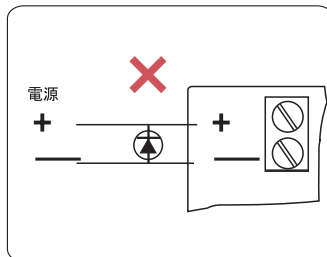
電磁石錠を設置する際に注意すべき最も重要な点は、吸着力を最大限に発揮させるためには、吸着板の作動方向を電磁石錠の吸着面に対し必ず垂直になるように設置することです。



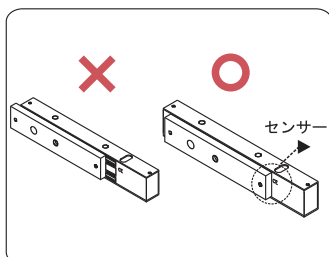
不法侵入に対抗できるように、電磁石錠を設置する場所は、必ず室内側になるようにしてください。また配線もなるべく扉枠の中を通すようにし、露出する場合は室内側になるようにしてください。



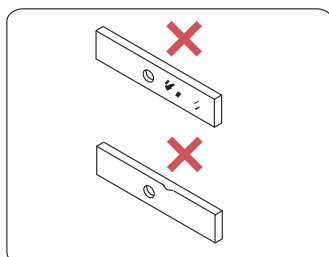
電磁石錠は「通電時施錠（停電時解錠）」型の電気錠です。そのため停電の際のセキュリティ性が要求される場合は、電源のバックアップが必要になります。



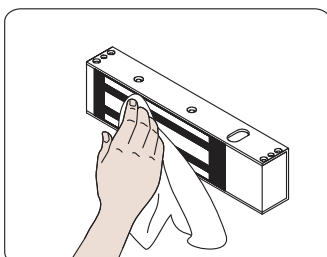
電磁石錠に対し、逆起電力防止用としてダイオードを接続することはしないでください。解錠動作に遅延が生じ、残留磁気が発生します。



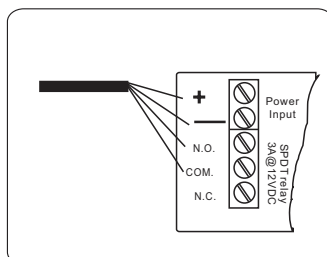
本体に内蔵された吸着力センサーが、吸着を検知するためには、電磁石錠と吸着板とは、接触の際完全に密着する必要があります。そうで無い場合、吸着を検知できず、「施錠」確認は出力されません。



吸着板の合わせ面に何らかの損傷を受けた場合、錠前の性能が十分に発揮されなくなる、あるいは錆びが発生させる原因となりますので、ご注意ください。



錆びを防止するために、吸着する合わせ面に「WD-40」等のシリコン系防錆潤滑剤を定期的に塗布してください。その際余分な液は拭うようにしてください。



電源線と信号線を同一ケーブルで配線する場合は、なるべくツイストペア線を使用してください。

配線長・目安表（電源～電磁石錠）

	電流値	8m	16m	24m	32m	48m	64m	80m	96m	128m	160m	320m
DC12Vの場合の 最小導体径 (mm)	0.25A	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.2	1.2	1.6	1.6	2.0	
	0.50A	0.9	0.9	0.9	1.2	1.2	1.6	2.0				
	0.75A	0.9	0.9	1.2	1.6	2.0	2.0					
	1.00A	0.9	1.2	1.6	1.6	2.0						
	1.50A	0.9	1.6	2.0	2.0							
	2.00A	1.2	1.6	2.0								
DC24Vの場合の 最小導体径 (mm)	電流値	8m	16m	24m	32m	48m	64m	80m	96m	128m	160m	320m
	0.25A	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.2	1.2	1.2
	0.50A	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.2	1.2	1.6	1.6	2.0	
	0.75A	0.9	0.9	0.9	0.9	1.2	1.6	1.6	2.0	2.0		
	1.00A	0.9	0.9	1.2	1.2	1.6	1.6	2.0	2.0			
	1.50A	0.9	0.9	1.2	1.6	1.6	2.0					
2.00A	1.2	1.2	1.6	1.6	2.0							

トラブルシューティング

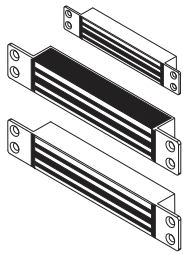
問題点	原因の可能性	解決策
施錠しない	電磁石錠に通電されていない	結線がちゃんとなされているか、端子台を確認してください。
		電源が正しく配線され、適切な運用をしているか確認してください。
		制御装置に対し正しく接続されているか確認してください。
吸着力が弱い	電磁石錠と吸着板との密着性が悪い	制御装置に対し正しく接続されているか確認してください。
		電磁石錠と吸着板との位置関係が適切であるかを確認してください。
		電磁石錠と吸着板との接触面が汚れていないかを確認してください。
施錠確認出力がされない	電圧が低下している、あるいは電圧の設定が間違っている	電磁石錠の動作電圧設定を確認し適切にしてください。
		電磁石錠に対し適切な電圧がかかっているかを確認してください。もし電圧が低い場合は、電圧降下の可能性がありますので、配線長に対して適切な配線の太さを確認してください。ノイズ防止の為に接続したダイオードは、すべて取り外してください（電磁石錠には予めノイズ防止用のバリスタが内蔵されています）。
閉扉確認出力がされない	リードスイッチとマグネットとの位置関係が悪い	吸着板の設置位置が適切かどうかを確認し、調節してください。

株式会社リ・プレイス

■ 本社 〒153-0063 東京都目黒区目黒1-6-32 202 TEL:03-6431-9533 FAX:03-6431-9535

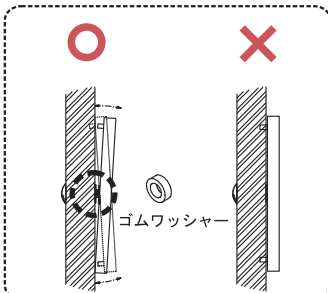
【埋め込み型電磁石錠・取付説明書】

製品仕様

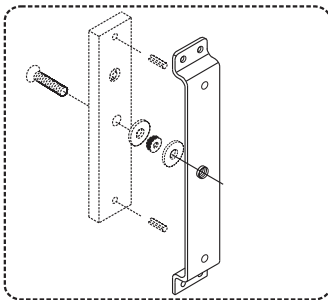


型番	吸着力	消費電流	取付金具 (オプション)	特記
10003M	約136kgf	300mA@12Vdc		防水型 施錠確認出力：無し DC12V専用
10000R	約272kgf	500mA@12VDC 250mA@24VDC	AMB-300	室内型 施錠確認出力：有り DC12V/24V切替型
10000STR	約272kgf	500mA@12Vdc 250mA@24Vdc	AMB-300	防水型 施錠確認出力：有り DC12V/24V注文時選択型

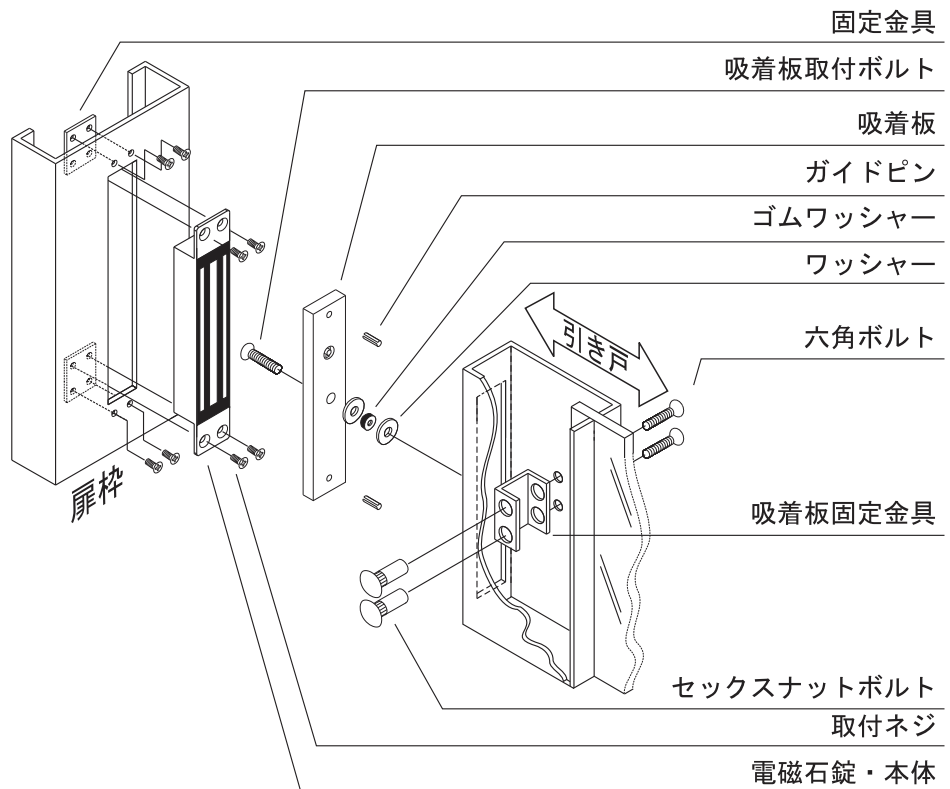
取付方法の図解



ゴムワッシャーの弾力により、吸着板が適度なピボット運動（すりこぎ運動）をして電磁石錠との密着性を保てるよう、吸着板取付ボルトを締め付けてください。

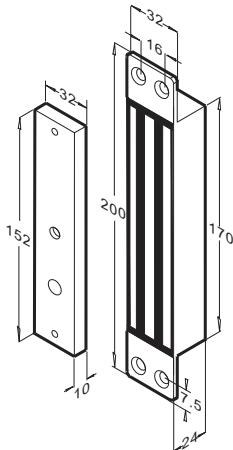


AMB-300 吸着板埋め込み用金具
(10000R/10000STR用オプション)

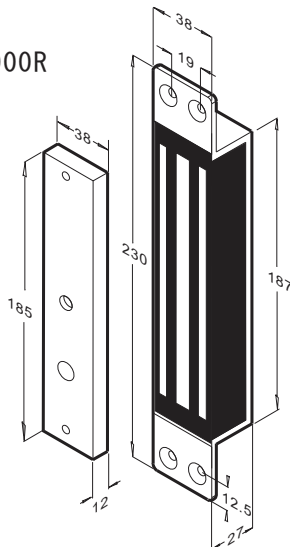


外形寸法図

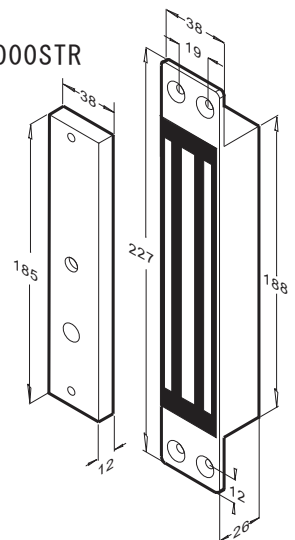
10003M



10000R

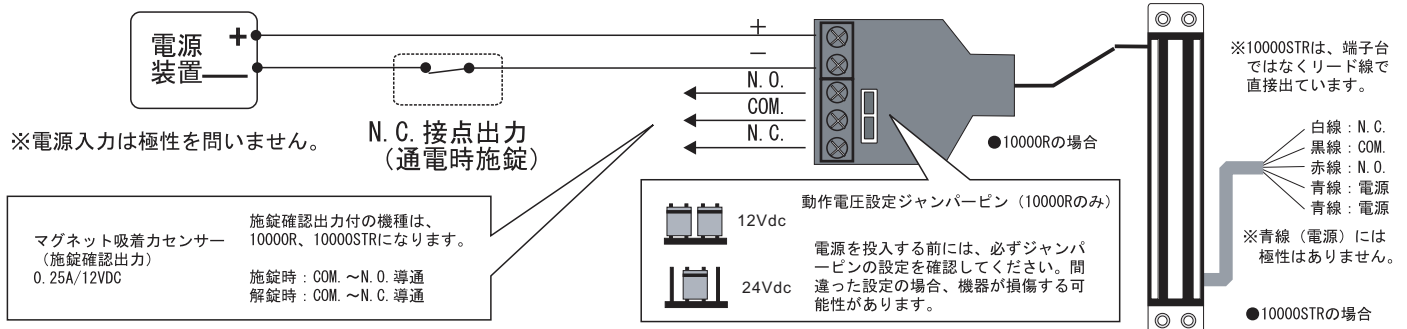


10000STR



単位：mm

結線方法



※10003Mの場合は、赤線、黒線（電源入力：極性無し）のリード線2芯です。施錠確認出力はありません。
※10000STRの場合は、注文時にDC12V用かDC24V用かの選択になります。

重要な注意事項

電磁石錠を設置する際に注意すべき最も重要な点は、吸着力を最大限に発揮させるためには、吸着板の作動方向を電磁石錠の吸着面に対し必ず垂直になるように設置することです。

本体に内蔵された吸着カセンサーが、吸着を検知するためには、電磁石錠と吸着板とは、接触の際完全に密着する必要があります。そうで無い場合、吸着を検知できず、「施錠」確認は出力されません。

電源線と信号線を同一ケーブルで配線する場合は、なるべくツイストペア線を使用してください。

吸着板の合わせ面に何らかの損傷を受けた場合、錠前の性能が十分に発揮されなくなる、あるいは錆びを発生させる原因となりますので、ご注意ください。

電磁石錠に対し、逆起電力防止用としてダイオードを接続することはいけません。解錠動作に遅延が生じ、残留磁気が発生します。

錆びを防止するために、吸着する合わせ面に「WD-40」等のシリコン系防錆潤滑剤を定期的に塗布してください。その際余分な液は拭うようにしてください。

電磁石錠は「通電時施錠（停電時解錠）」型の電気錠です。そのため停電の際のセキュリティ性が要求される場合は、電源のバックアップが必要になります。

トラブルシューティング

問題点	原因の可能性	解決策
施錠しない	電磁石錠に通電されていない	結線がちゃんとなされているか、端子台を確認してください。
		電源が正しく配線され、適切な運用をしているか確認してください。
		制御装置に対し正しく接続されているか確認してください。
吸着力が弱い	電磁石錠と吸着板との密着性が悪い	制御装置に対し正しく接続されているか確認してください。
		電磁石錠と吸着板との位置関係が適切であるかを確認してください。
		電磁石錠と吸着板との接触面が汚れていないかを確認してください。
	電圧が低下している、あるいは電圧の設定が間違っている	電磁石錠の動作電圧設定を確認し適切にしてください。
施錠確認出力がされない	ダイオードを電磁石錠に接続している	電磁石錠に対し適切な電圧がかかっているかを確認してください。もし電圧が低い場合は、電圧降下の可能性がありますので、配線長に対して適切な配線の太さを確認してください。ノイズ防止の為に接続したダイオードは、すべて取り外してください（電磁石錠には予めノイズ防止用のバリスタが内蔵されています）。
閉扉確認出力がされない	リードスイッチとマグネットとの位置関係が悪い	吸着板の設置位置が適切かどうかを確認し、調節してください。

株式会社リ・プレイス

■ 本社 〒153-0063 東京都目黒区目黒1-6-32 202 TEL:03-6431-9533 FAX:03-6431-9535